

共生・協働の地域社会づくり

枕崎市 自治会

《問い合わせ》 ☎0993(76)3168

◎ 東白沢公民館

自分たちの集落は自分たちでどうにかしていきたい！

東白沢地区

枕崎市と南九州市知覧町との境にある枕崎市東白沢地区は、世帯数150、高齢化率47%の自治会だが、自治会加入率は100%である。活発な公民館活動を展開し、婦人会や子ども会育成会、消防団や自主防災会などの部会が結成され、敬老会や十五夜などのさまざまな催しを行っている。

「自分たちの集落は自分たちでどうにかしていきたいよね」と村野欣一館長は語る。東白沢にはこのような考え方が古くから伝統として残っているため、「自分たちで何とかしようということ」を何ら特別なこととは感じていないようだ。

これは会費の使い方にも見られる。東白沢公民館では、会費として毎月2000円を公民館の修繕費、1000円を集落道路の維持補修費として積み立てている。この積み立て制度はいつか始まったかは不明だが、昔からこの積立金と、集落内にある土



▲道路の舗装のようす

員を始めとした集落の人々。直接工事に携われない住民は、飲み物や食べ物を提供するなど、自分ができることで集落道の工事に参加している。

擁壁工事に係る資材は、枕崎市役所と交渉し、使用済みものを無償で譲り受けた。市からの補助金は受けずに、費用は全て公民館会費の集落道路の

木工事、電気工事、大工などの職人の動員により、公民館の軽微な補修や、集落道の維持補修を行っている。

道普請

特に、現代の道普請といえる集落道の維持補修の取り組みには県内各地から多くの関心が寄せられている。やり方は次のとおりである。

まず、自治会内を10余りの班に分け、班長を通して住民の要望を聞いている。この要望に応じて、昨年は砂利の集落道を、擁壁を作りコンクリート舗装へと補修した。作業に従事するのは、公民館の役

維持補修費から支出された。自治会の人々の力を合わせて作られた擁壁と集落道の舗装費用は、業者の見積価格と比較して半額以下で抑えられたという。

より安心できる暮らしのために

また、公民館の修繕費と財団法人自治総合センターの助成金を活用して、集落内の有線放送を全て無線放送に切り替えた。これにより、自然災害時における情報のほか、枕崎市や公民館からの情報により確実に伝えられるようになった。

東白沢地区も高齢化の進行の波を避けることはできないものの、これまで行ってきた集落内の見回り活動や朝の立哨に加え、おやじの会による小中学生の安全な登下校のパトロールなど、次世代を担う子どもたちの安全にまで心を配るなど、住民がそれぞれできることを行っている。

古くから残る伝統を大切にしながらコツコツと、東白沢地区の活動はこれからも続く。



村野 欣一 館長

集落でできることは、集落で！



▲作業中の差し入れに心が和む

共生・協働の地域社会づくりやNPO法人に関するお問い合わせ先

◎ 共生・協働推進室（県庁市町村課内） ☎099-286-2241

◎ 共生・協働センター（かごしま県民交流センター内） ☎099-221-6605

関連情報は、県ホームページの「共生・協働（NPO・ボランティア）」にも掲載しています。